

## 9月のブルーベリー農園その1（東広島市豊栄町）

ブルーベリーの収穫はとにかく雨にたたられたシーズンだった。9月4日の土曜日、摘み取りに協力頂いた皆さ

んには終了のお知らせをしておいた。収穫は昨年比べて3分の2となった。やはり天気にはかなわない。安芸の郷への納品も少なくなった。にぎやかだった8月から静かさが戻る9月に入ったが草刈りをはじめ作業はつきない。



9月4日（土）。3日が午前中雨、4日の午前1時から2時に約140mmの雨が豊栄町に降った。10時過ぎ農園に来てみると案の定畑は水浸し。



ブルーベリーの実はというと3日からの雨続きでまた実が割れ、水分を含んでべちゃべちゃ状態。それでも3グループの友人、知人の援農があり摘み取りは足元のいい里山で行った。



防草シートは水が流れた方向によっている。



水路の泥、草を取り除いて水の流れを良くする。腰にこたえる作業だった。





9月5日（日）。  
ブルーベリーの摘み取り援農は昨日で終了。夏中ほったらかしで伸びに伸びた畑の草をひたすら抜いた。ジャーマンアイリスが顔を出した。



9月6日（月）。  
東広島市高屋町にある障害者の事業所が摘み取りの手伝いをする事になり、この日は利用者5人と職員一人が来園。里山の東側で午前中2時間程度作業をして頂く。



庭の花壇。今年もツルボの花や、



女性の利用者もいてポットとコミックが摘んだブルーベリーを計量するテーブルの上に置いてあった。



ホウズキが咲きだした。



周辺の稲田も稲刈りが始まっている。